

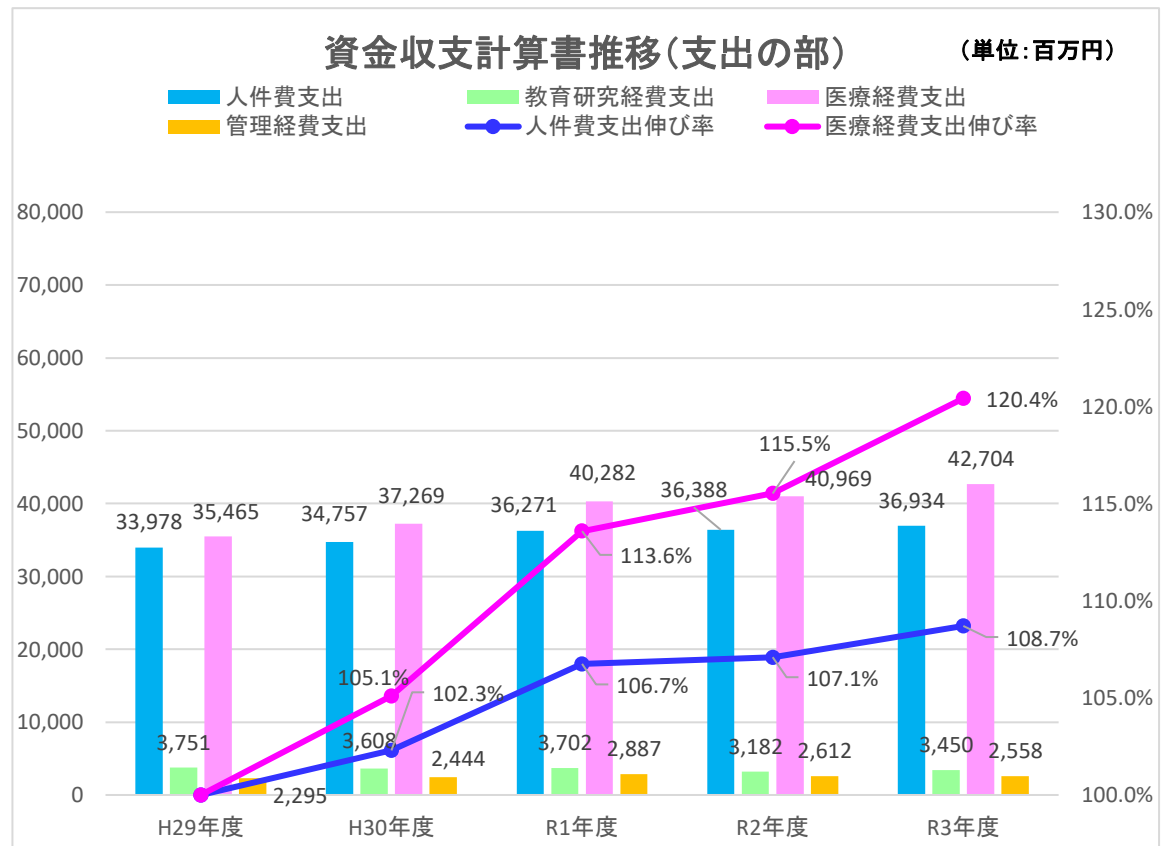
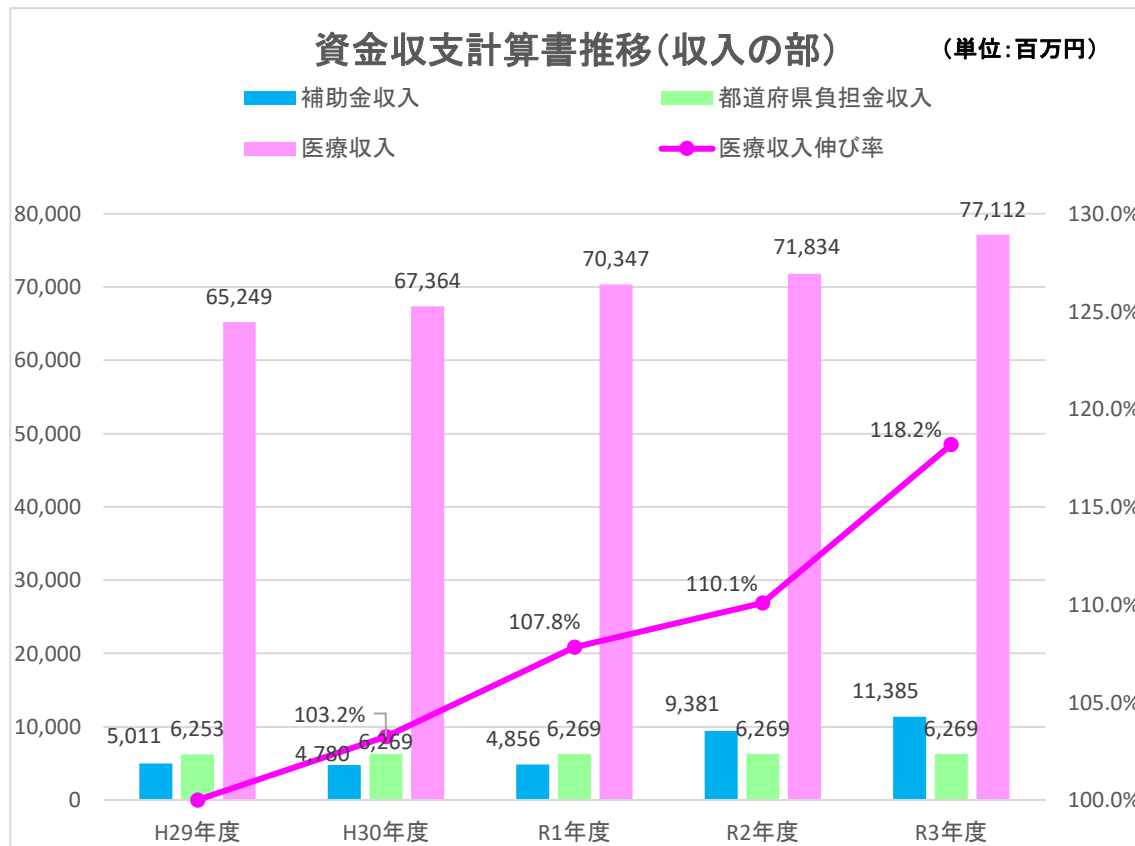
資金収支計算書

(単位 百万円)

収入の部				支出の部			
科目	R3決算	R2決算	差異	科目	R3決算	R2決算	差異
学生生徒等納付金収入	(3,591)	(3,564)	(27)	人件費支出	(36,934)	(36,388)	(546)
手数料収入	(56)	(60)	(△4)	教育研究経費支出	(3,450)	(3,182)	(268)
寄付金収入	(513)	(674)	(△161)	医療経費支出	(42,704)	(40,969)	(1,735)
補助金収入	(17,654)	(15,650)	(2,004)	管理経費支出	(2,558)	(2,612)	(△54)
国庫補助金収入	2,855	3,431	△576	借入金等利息支出	(1)	(2)	(△1)
地方公共団体補助金収入	8,527	5,947	2,580	借入金等返済支出	(133)	(150)	(△17)
地方公共団体負担金収入	6,269	6,269	0	施設関係支出	(603)	(1,111)	(△508)
その他補助金収入	3	3	0	設備関係支出	(1,999)	(2,329)	(△330)
資産売却収入	(2,965)	(301)	(2,664)	資産運用支出	(12,161)	(4,382)	(7,779)
付随事業・収益事業収入	(2,068)	(1,540)	(528)	その他の支出	(14,402)	(14,365)	(37)
医療収入	(77,112)	(71,834)	(5,278)				
受取利息・配当金収入	(118)	(121)	(△3)	資金支出調整勘定	(△10,000)	(△10,392)	(392)
雑収入	(858)	(937)	(△79)	翌年度繰越支払資金	(7,599)	(7,246)	(353)
前受金収入	(94)	(100)	(△6)				
その他の収入	(17,320)	(17,041)	(279)				
資金収入調整勘定	(△17,051)	(△15,619)	(△1,432)				
前年度繰越支払資金	(7,246)	(6,141)	(1,105)				
収入の部合計	112,544	102,344	10,200	支出の部合計	112,544	102,344	10,200

法人全体の教育研究活動等に伴う全ての収入と支出を明らかにする資金収支計算書における決算額は、112,544百万円となった。

◆資金収支計算書のここ5年間の推移



※上表はここ5年間の資金収支計算書における収入・支出の主要科目の推移を表している。折れ線グラフは平成29年度を起点とした医療収入及び人件費並びに医療経費支出の伸び率を表している。

事業活動収支計算書

(単位:百万円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	R3決算	R2決算	差異	教育活動	事業活動収入の部	科目	R3決算	R2決算	差異
		学生生徒等納付金	(3,591)	(3,564)	(27)			受取利息・配当金	(118)	(121)	(Δ3)
手数料	(56)	(60)	(Δ4)	その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)				
寄付金	(518)	(613)	(Δ95)	教育活動外収入計	(118)	(121)	(Δ3)				
経常費等補助金	(16,293)	(14,022)	(2,271)	事業活動支出の部	科目	R3決算	R2決算	差異			
国庫補助金	2,827	3,316	Δ489	借入金等利息	(1)	(2)	(Δ1)				
地方公共団体補助金	7,194	4,434	2,760	その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)				
地方公共団体負担金	6,269	6,269	0	教育活動外支出計	1	2	Δ1				
その他の補助金	3	3	0	教育活動外収支差額	117	119	Δ2				
付随事業収入	(2,068)	(1,540)	(528)	経常収支差額	3,755	Δ1,748	5,503				
医療収入	(77,112)	(71,834)	(5,278)	事業活動収入の部	科目	R3決算	R2決算	差異			
雑収入	(858)	(937)	(Δ79)	資産売却差額	(0)	(0)	(0)				
教育活動収入計	100,496	92,570	7,926	その他の特別収入	(1,462)	(1,861)	(Δ399)				
特別収入	科目	R3決算	R2決算	差異	特別収入計	1,462	1,861	Δ399			
人件費	(37,281)	(36,697)	(584)	事業活動支出の部	科目	R3決算	R2決算	差異			
教育研究経費	(5,192)	(4,865)	(327)	資産処分差額	(131)	(749)	(Δ618)				
医療経費	(48,232)	(46,709)	(1,523)	その他の特別支出	(0)	(0)	(0)				
管理経費	(3,235)	(3,291)	(Δ56)	特別支出計	131	749	Δ618				
徴収不能額等	(2,918)	(2,875)	(43)	特別収支差額	1,331	1,112	219				
教育活動支出計	96,858	94,437	(2,421)	[予備費]			0				
教育活動収支差額	3,638	Δ1,867	(5,505)	基本金組入前当年度収支差額 ※	A 5,086	Δ636	5,722				

事業活動収入計	102,076	94,552	7,524	基本金組入額合計	B 0	Δ1,367	1,367
事業活動支出計	96,990	95,188	1,802	当年度収支差額 (C=A+B)	C 5,086	Δ2,003	7,089
基本金組入前当年度収支差額 (※再掲:いわゆる損益収支)	5,086	Δ636	5,722	前年度繰越収支差額	D Δ95,018	Δ95,015	Δ3
				基本金取崩額	E 1,273	2,000	Δ727
				翌年度繰越収支差額 (F=D+C+E)	F Δ88,659	Δ95,018	6,359

貸借対照表より

基本金合計	G 243,409	244,682	Δ1,273
純資産額 (H=G+F)	H 154,750	149,664	5,086

単年度における法人の経営状況を示す事業活動収支計算書では、事業活動収入計が102,076百万円、事業活動支出計が96,990百万円となり、その差額である「基本金組入前当年度収支差額※」(いわゆる損益収支)は、5,086百万円と法人全体として8年ぶりの黒字決算となった。

令和4年度も、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が不透明な状況にある中で、引き続き、新型コロナウイルス感染症対応をしっかりと行いながら、経営改善の取組みを不断に進め、法人全体の黒字決算を維持・継続していく必要がある。

◆基本金組入前当年度収支差額(いわゆる損益収支)と純資産額の推移

(単位:百万円)

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
基本金組入前当年度収支差額 (いわゆる損益収支)	2,538	4,164	1,695	2,867	2,488	Δ43	Δ2,443	Δ3,537	Δ3,975	Δ5,411	Δ5,136	Δ636	5,086
純資産額	159,631	163,795	165,490	168,357	170,845	170,802	168,360	164,823	160,848	155,436	150,300	149,664	154,750